

氏名	平野 喆 雄
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第3023号
学位授与の日付	平成8年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Enhancement of Experimental Metastasis by $\gamma$ -Interferon in a Murine Adenocarcinoma ( $\gamma$ インターフェロンによる実験的転移の促進)
論文審査委員	教授 清水 信義 教授 中山 睿一 教授 難波 正義

### 学位論文内容の要旨

$\gamma$ -Interferon(IFN- $\gamma$ )の実験的肺転移形成に及ぼす影響を検討した。colon26 大腸癌細胞をIFN- $\gamma$ にて前処置することにより有意に実験的肺転移が促進された。実験的肺転移の促進には少なくとも10U/mlの濃度のIFN- $\gamma$ が必要であった。マウスを抗アシアロGM1抗体で前処理をすることでIFN- $\gamma$ を加えたものと加えないものの肺転移結節数の有意な差は認められなくなった。IFN- $\gamma$ で前処置したcolon26 大腸癌細胞はTNF- $\alpha$ による増殖抑制に対して抵抗性を示した。シクロヘキシミドを加えて培養することにより実験的肺転移の促進が抑制された。以上よりcolon26 大腸癌細胞をIFN- $\gamma$ で処理することで実験的肺転移の促進がみられたがこれには蛋白合成が必要であることが示唆された。また、このIFN- $\gamma$ による転移促進は抗アシアロGM1陽性細胞に対する抵抗性が関係するものと示唆された。

なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

### 論文審査結果の要旨

本研究は  $\gamma$ -Interferon(IFN- $\gamma$ )の実験的肺転移形成に及ぼす影響を検討したものであるが、マウスのcolon26大腸癌細胞をIFN- $\gamma$ にて前処置することにより有意に実験的肺転移が促進された。これには蛋白合成が必要であると示唆された。またこのIFN- $\gamma$ による転移促進は抗アシアロGM1陽性細胞に対する抵抗性が関係するとの知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があることを認める。